

令和2年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第1学年	MY WAY English CommunicationⅠ New Edition

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力をつける授業です。そのため、ペアワークやグループワークも取り入れ、音読や考えを相手に伝えるなどの言語活動を多く行います。積極的に活動に参加しましょう。
- ・英語の語彙や文法は「英語を使う」ことを意識して、実際のコミュニケーションに活かせることを目標にしましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第1学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（3単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・関連する映像や読んだこと、学んだこと、また経験したことなどに基づいて、情報や自分の考えについて話すことができる。 ・簡単な質問に、素早く正確に答えることができる。 	コミュ英Ⅰ インタビュー テスト スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する映像や読んだこと、学んだこと、また経験したことなどに基づいて、情報や自分の考えについて、簡潔に書くことができる。 ・簡単な質問に、正確に答えを書くことができる。 	コミュ英Ⅰ 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する対話や紹介文などを聞いて、情報の概要や詳細をとらえることができる。 ・テーマに関する質問を聞いて、内容を理解することができる。 	コミュ英Ⅰ リスニング テスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・説明や物語などを読んで、情報の概要や詳細をとらえることができる。 ・内容に関する質問の答えを、正確に探し出すことができる。 	コミュ英Ⅰ リーディング テスト 定期考査

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観 点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実 施 方 法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	文法等の知識を身に付け、正しく運用できているかどうか、また知識の背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (10 時間)	姓名の順、姓名の成り立ち、姓のない国など、名前をめぐる世界の状況について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・世界の名前について知っている情報や、自分の名前の由来について、間違ふことを恐れず、積極的に話す。	・各セクションを読む前に、世界の名前について知っている情報や自分の名前の由来について、ワークシートに基づいてペアで伝え合う。	・世界の名前について知っている情報や、自分の名前の由来について、間違ふことを恐れず、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・姓と名の順序についての説明を読んで、自分の意見を because を使って簡潔な英語で書く。	・本文を読んで、各国の姓と名の順序の違いをワークシートに要約する。 ・自分の意見をまとめる。	・姓と名の順序についての説明を読んで、自分の意見を because を使って簡潔な英語で書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・例示や come from などの表現に注意して、世界の名前の由来や姓と名の順序に関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、概要や要点を捉え、ワークシートにメモする。	・例示や come from などの表現に注意して、世界の名前の由来や姓と名の順序に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができてきているかを判断する。
Lesson 2 (10 時間)	やなせたかしさんがアンパンマンを通して私たちに残したメッセージを通じて、平和について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・各セクションを読む前に、「アンパンマン」について知っている情報について、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・読んだことに基づき、自分の好きなアニメのキャラクターについて話す。	・ペアで、メモに基づいて、自分の好きなアニメのキャラクターについて伝え合う。	・読んだことに基づき、自分の好きなアニメのキャラクターについて話すことができる。	・授業時間を利用してインタビューテストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		・アンパンマンの特徴や、やなせたかしのメッセージを読み取る。	・セクションごとに、関連した映像などを見ながら、イメージとともにその内容を理解する。	・アンパンマンの特徴や、やなせたかしのメッセージを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができてきているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・5 文型 (SV, SVO, SVC, SVOO) の使い方を理解する。 ・例示 (such as や like) の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・5 文型 (SV, SVO, SVC, SVOO) の使い方を理解している。 ・例示 (such as や like) の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・5 文型 (SVOC, SV that 節) の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・5 文型 (SVOC, SV that 節) の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (10 時間)	オリンピックの歴史（古代・近代）とオリンピックの問題点、その意義について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・セクションごとに、本文の音声を読み、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・本文の内容に基づき、オリンピックの好きな競技について、理由と共に簡潔に書く。	・本文の内容に基づき、ワークシートに英語で書く。	・本文の内容に基づき、オリンピックの好きな競技について、理由と共に簡潔に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・数字の聞き取りに注意しながら、オリンピックの歴史に関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、本文の音声を読み、ワークシートにメモする。	・数字の聞き取りに注意しながら、オリンピックの歴史に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組状況の判断材料として活用する。
Lesson 4 (10 時間)	病院に設置されている芸術作品から、人々を癒すことが出来る芸術の力を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ホスピタルアートやその役割について、間違えることを恐れず、積極的に話す。	・各セクションを読む前に、ホスピタルアートやその役割について、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ホスピタルアートやその役割について、間違えることを恐れず、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・読んだことに基づき、世界のホスピタルアートについて、あるいは自分でデザインしたホスピタルアートについて、簡潔な英語で発表する。	・ホスピタルアートをデザインし、自分の考えを英文で書き、クラスで発表する。	・読んだことに基づき、世界のホスピタルアートについて、あるいは自分でデザインしたホスピタルアートについて、簡潔な英語で発表する。	・授業時間を利用して、スピーチを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		・銅版画家の山本容子さんのホスピタルアートに興味をもった理由とどのような作品を作っているか、読んだことを理解する。	・セクションごとに関連した映像などを見ながら、山本容子さんについて読み、イメージとともにその内容を理解する。	・銅版画家の山本容子さんのホスピタルアートに興味をもった理由とどのような作品を作っているか、読んだことを理解する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞、受け身、助動詞の付いた受け身の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・助動詞、受け身、助動詞の付いた受け身の使い方を理解している。 ・例示（such as や like）の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在進行形、現在完了形、過去完了系の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在進行形、現在完了形、過去完了系の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (10 時間)	世界の様々な文字やその成り立ち、書き方について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・アルファベットの成り立ちや各国の文字を書く方向など、ワークシートに基づいて、ペアで考えながら、答えを推測する。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・興味をひかれた文字について、その内容と理由を簡潔に書く。 ・(OR) 英漢字を自分で考え、伝える。	・セクションごとに、興味を引かれた文字について、ワークシートに英語で書く。 ・(OR) メモに基づいて、自分が考えた英漢字を伝え合う。	・興味をひかれた文字について、その内容と理由を簡潔に書くことができる。 ・(OR) 英漢字を自分で考え、伝えることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・文字の成り立ちや各国の文字の違いについて、概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像を見ながら、文字の成り立ちや各国の文字の違いについて、イメージと共にその内容を理解する。	・文字の成り立ちや各国の文字の違いについて、概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動名詞、to 不定詞、It is ... to 不定詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・動名詞、to 不定詞、It is ... to 不定詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。